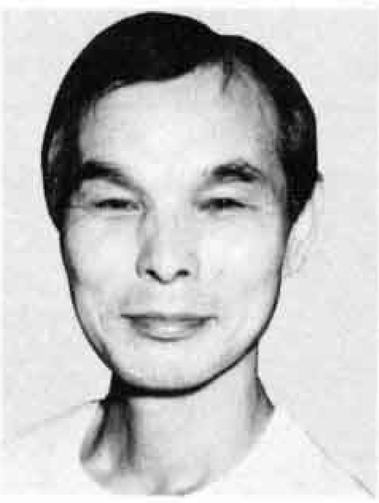
献血回数八十回
荒田島の石井俊隆さん


石井俊隆さん

多くの人命を守り、助ける献血。荒田島の石井俊隆さん（五十歳）は、延べ献血回数が八十回を超え、八月七日、静岡市で開かれた県献血推進大会で、日本赤十字社社長感謝状を受けました。石井さんが献血を始めたのは二十年前といいますから、年四回のペース。特別の事情で続けたわけでなく、あくまで善意で行ってきました。石井さんは「健康管理にもなるし、できる限り続けたい」とのこと。皆さんもぜひ御協力を。

ソフィア少年少女合唱団の公演に
市内の子供たちが共演

2曲を全員で合唱

八月十一日、ブルガリアのソフィア少年少女合唱団の富士公演が富士文化センターで行われました。

この公演は、市内のコーラスグループの皆さんが実行委員会（代表小笠原理津子さん）をつくり、実現したもので、会場は超満員。

ソフィアの子供たちのすばらしい歌声はもちろんでしたが、富士市の子供たち百二十人と合唱した場面も、観客を楽しませました。合唱した曲は日本語で「しあわせのうた」など二曲。子供たちは音楽を通して一つになりました。

ボクシングの練習で
健康づくり

野村活秀さん

ボクシングといえばハードな男のスポーツ。ところが、久沢の野村活秀さん（二十九歳）は、毎週金曜日の夜、勤労者体育センターのトレーニングルームで数人の皆さんとボクシングをソフトにした練習を通して健康づくりをしています。野村さんは、かつての全日本社会人ウェルター級のチャンピオン。プロでも二年間活躍しました。「サンドバッグをたたくと、ストレスなんか吹っ飛びます。女性の減量にも最適」とのこと。挑戦したい人は☎七二―三〇七九（野村方）へ。

富士市のギネス
なんでも No.1

今年度中の100歳以上は12人

◁加藤あきさんを渡辺市長が励ます（昨年）

平成元年度中に100歳以上になるお年寄りは、市内で12人。今回は、市内の長寿者の皆さんを紹介します。

順	氏名（住所）	性別	年齢
1	加藤あき（川尻町2）	女	103
2	佐野りき（水戸島上）	〃	102
3	一ッ山志ゆう（依田橋）	〃	〃
4	鈴木太一（前田）	男	〃
5	渡辺りん（鷹岡本町3）	女	101
6	佐野健次（中里八幡町）	男	〃
7	勝又たま（久沢南）	女	100
8	川口はる（上五貫島）	女	〃
9	石田なつ（富士見台5）	〃	99
10	原りやう（久沢南）	〃	〃
11	近藤なか（天間東）	〃	〃
12	杉山もん（立小路）	〃	〃

あじゃまします

自然と親しみ、自然を守る
富士自然観察の会の皆さん

ふだん何げなく接している自然も、一たび破壊されると修復は容易ではありません。今回は、自然を保護し、自然と親しむ活動を行っている「富士自然観察の会」の皆さんにおじゃましました。

自然観察の会の皆さんは総勢六十五人。高校生から八十歳代のお年寄りまで幅広い皆さんで構成されています。

最初は自然を愛好する市の職員が中心となって呼びかけ、昭和六十年三月に発足したものですが、現在は今泉小学校校長の中山芳明さんを会長に多くの皆さんが参加しています。

活動は年間十一回ぐらい。植物や鳥・昆虫・星など自然にある物はすべて観察の対象としています。最近は、七月に磐田市の桶ヶ谷沼でトンボの観察会を開き、九月十日には本栖湖の近くで草花を写す会、十月八日には富士山のキノコ観察などを予定しています。

こうした活動を通して自然と親しみ、自然を理解・保護する気持ちを育てています。ある会員は「鳥や草を知ることで、どこへ行っても喜びを味わえ、人生が広がったように思えます」と言います。

中山会長は「自然の理解を深めることで、自然を保護する気持ちは育っていきます。私たちの活動は、オーバーなようですが、ひいては地球の環境を守る活動になるのでは」と語ります。

年会費は二千円（高校生以下は千円）。詳しくは、事務局中村さん☎五三―四四一へ（夜間）。

◁桶ヶ谷沼の観察